

CL クラッチ

目次

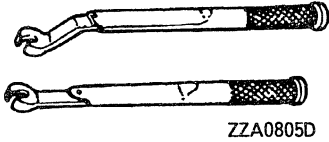

準備品	CL- 2
特殊工具	CL- 2
油脂及びその他	CL- 2
クラッチコントロール (RB26DETT)	CL- 3
マスターシリンダー	CL- 3
オペレーティングシリンダー	CL- 4
クラッチブースター	CL- 5
ブースターホース	CL- 7

CL

@gabednconfused
@gabednconfused
@gabednconfused
@gabednconfused

準備品

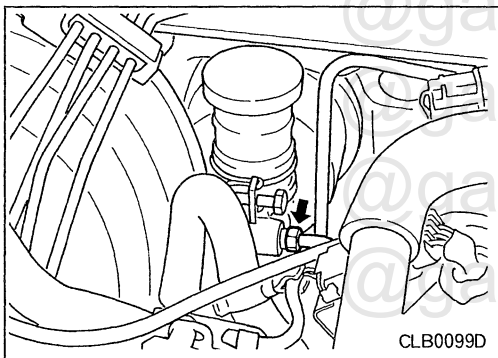
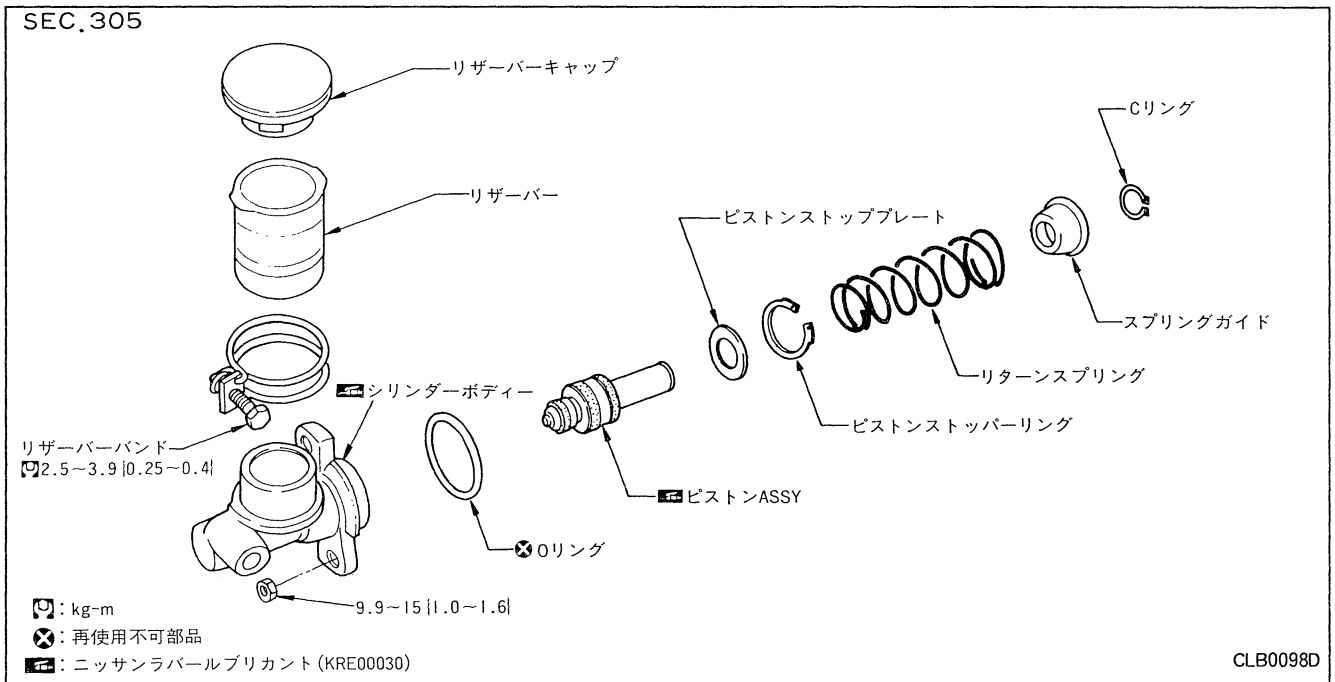
特殊工具

名 称	用 途	備 考
フレアナットトルクレンチ GG9431 0000  ZZA0805D	クラッチ配管取り付け	既 設
バキュームハンディポンプ EG1513 0000  ZZA0755D	ブレーキブースター点検 チェックバルブ点検	

油脂及びその他

名 称	用 途
ニッサンブレーキフルードNo. 2500	フルード補充及びエア抜き時
ニッサンラバーリップリカント(KRE12 00030)	各部への塗布
ニッサンMPスペシャルグリースNo. 2	各部への塗布

マスターシリンダー



取り外し

1. リザーバータンク内のブレーキフルードを抜き取る。
2. クラッチチューブをフレアナットレンチを使用して取り外す。
3. マスターシリンダーASSYの取付ナットを取り外し、マスターシリンダーASSYをブースターより取り外す。

取り付け

1. マスターシリンダーASSYにクラッチチューブを取り付け、フレアナットを仮締めする。
2. マスターシリンダーASSYをブースターに取り付け、取付ナットを規定トルクで締め付ける。
締め付トルク (N-m [kg-m]) : 9.9 ~ 15 [1.0 ~ 1.6]
3. クラッチチューブのフレアナットをフレアナットトルクレンチ (特殊工具: GG9431 0000) を使用して、規定トルクで締め付ける。
締め付トルク (N-m [kg-m]) : 15 ~ 17 [1.5 ~ 1.8]
4. 作業終了後クラッチ配管のエア抜きを行う。
(「スカイラインR33型整備要領書 (A006022) エア抜き」の項参照)

マスターシリンダー (続き)

分解

1. リターン Springs が飛び出さないようにスプリングガイドを押さえCリングを取り外す。
2. ピストンストッパーリング及びピストンストッププレートを取り外しシリンダーボディよりピストンを取り外す。

点検

以下の項目を点検し、異常があれば交換する。

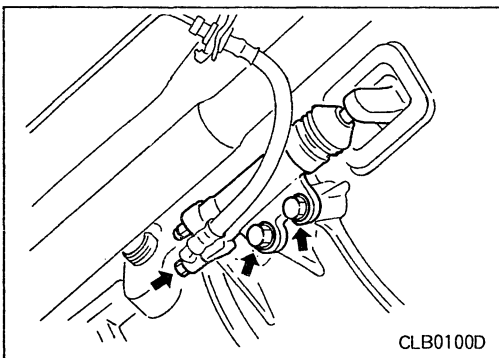
- シリンダー内壁の損傷、摩耗、さび及びピンホール
- リザーバタンクの損傷及び変形
- スプリングのへたり
- ダストカバーのき裂及び変形

組み立て

1. ピストンASSYのしゅう動部及びシリンダーボディにニッサンラバーブリカント (KRE12 00030) を塗布してからピストンASSYを挿入し、ピストンストッププレートを取り付けピストンストッパーリングで固定する。

注意 : ピストンASSYは、再使用不可部品のため取付時新品と交換する。

2. ピストンASSYにリターン Springs 及びスプリングガイドを取り付けCリングで固定する。



オペレーティングシリンダー

取り外し

1. ブレーキフルードを抜き取る。
2. オペレーティングシリンダーのホースを緩める。
3. オペレーティングシリンダーの取付ボルト及びホースを取り外してから、車両より取り外す。

取り付け

取り付けは、下記の作業に注意し、取り外しの逆の手順で行い取付ボルトを規定トルクで締め付ける。

注意 : ホースはねじれがないように取り付ける。

締付トルク (N-m {kg-m})

オペレーティングシリンダー取付ボルト

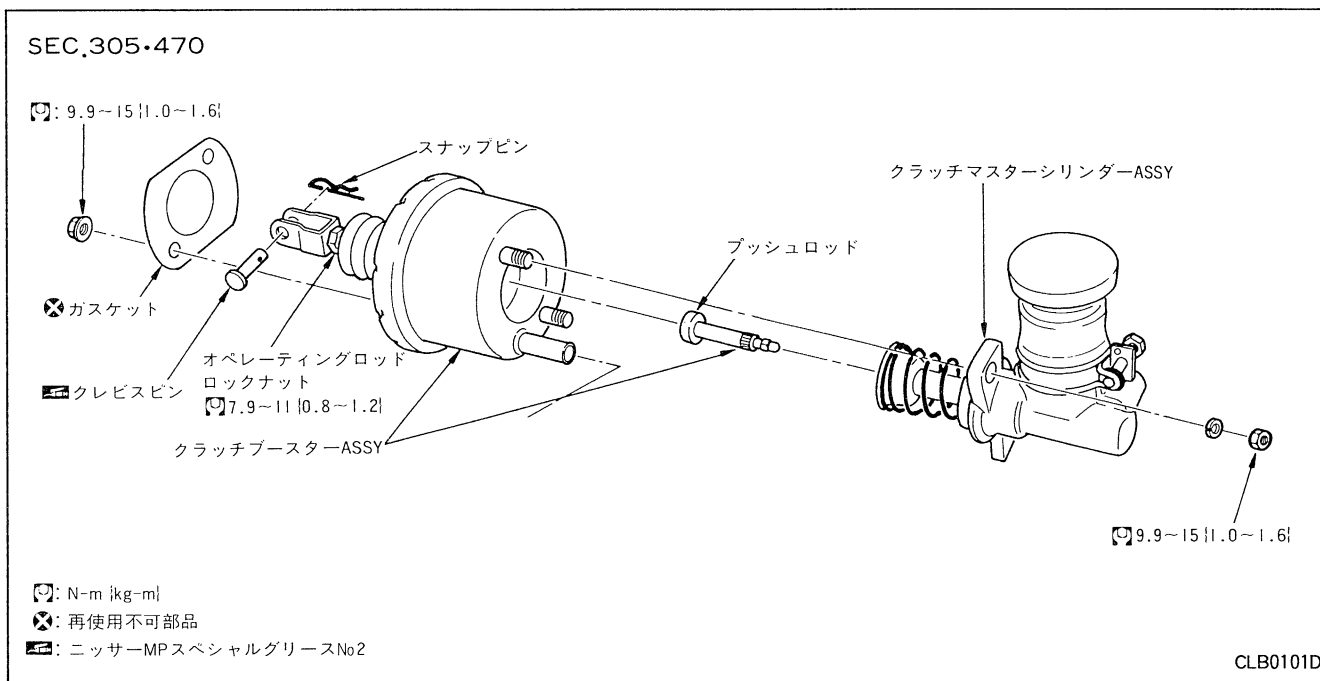
: 31 ~ 40 {3.1 ~ 4.1}

クラッチホースユニオンボルト

: 17 ~ 20 {1.7 ~ 2.0}

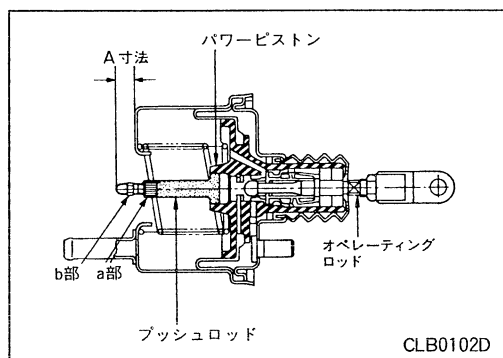
- 作業終了後クラッチ配管のエア抜きを行う。(「スカイラインR33型整備要領書 (A006022) エア抜き」の項参照)

クラッチブースター



取り外し

1. ブレーキブースターを取り外す。
(「スカイラインR33型整備要領書 (A006022) BR編」の項参照)
2. クラッチマスターシリンダーを取り外す。
(「マスターシリンダー」の項参照)
3. クラッチブースターよりブースターホースを取り外す。
(「ブースターホース」の項参照)
4. 車両室内よりクレビス部のスナップピン及びクレビスピンを取り外しクラッチペダルと分離する。
5. ペダルブラケットの取付ナットを取り外す。
6. エンジンルーム側よりブースターASSYを取り外す。

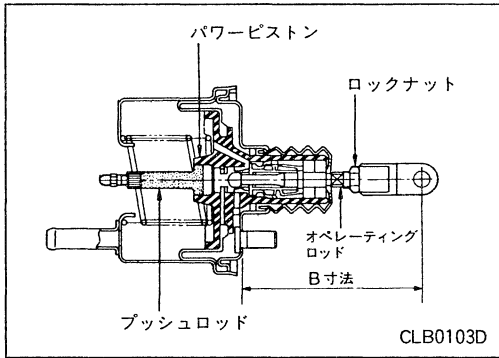


点検

- プッシュロッドをブースターにセットしA寸法を測定し、下記基準値となっているか点検する。
A寸法基準値 (mm) : 9.6
基準値を外れる場合は、プッシュロッドのa部を固定しb部で調整すること。

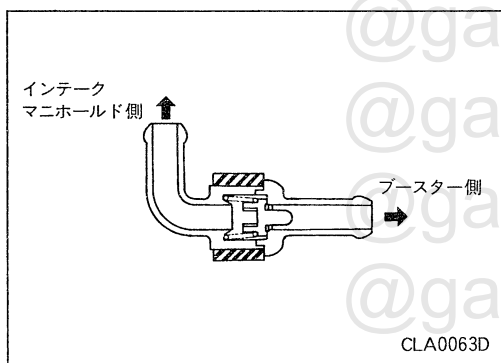
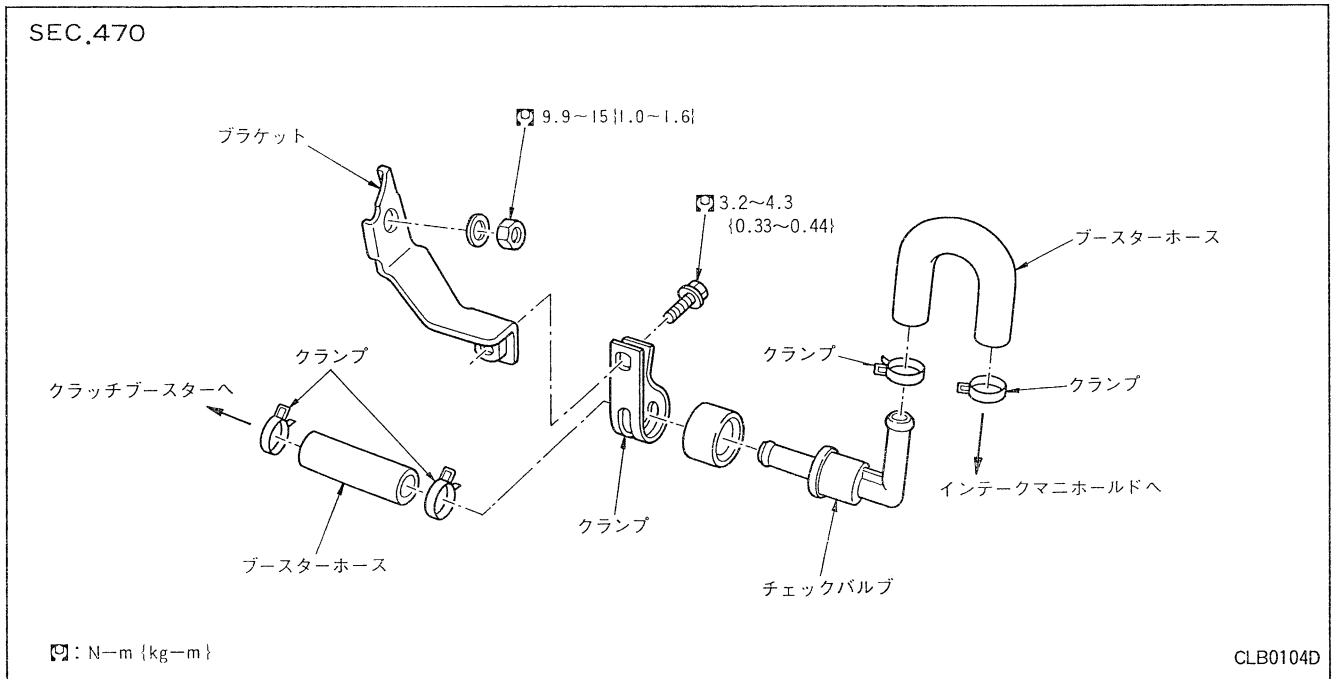
クラッチブースター (続き)

取り付け



1. 左図B寸法が基準値になるように、オペレーティングロッドの長さをロックナットを緩めて調整する。
B寸法基準値 (mm) : 94
2. B寸法を調整後、ロックナットを仮締めし、ブースターASSYを車両に取り付ける。
3. クラッチペダル部にオペレーティングロッドのクレビス部を接続する。
4. ペダルブラケットの取付ナット (2個) を取り付け、規定トルクで締め付ける。
締め付トルク (N-m {kg-m}) : 9.9 ~ 15 {1.0 ~ 1.6}
5. ブースターのパワーピストン部にプッシュロッドを取り付けプッシュロッドが倒れ込まないように注意してマスターシリンダーをブースターに取り付け規定トルクで取付ナットを締め付ける。
締め付トルク (N-m {kg-m}) : 9.9 ~ 15 {1.0 ~ 1.6}
6. ブースターにブースターホースを取り付ける。
(「ブースターホース」の項参照)
7. クラッチペダルの高さ及び遊びを調整する。
(「FMA編主な点検調整要領クラッチ」の項参照)
8. オペレーティングのロックナットを規定トルクで締め付ける。
締め付トルク (N-m {kg-m}) : 7.9 ~ 11 {0.8 ~ 1.2}
9. ブレーキブースターを取り付ける。
(「スカイラインR33型整備要領書 (A006022) BR編」の項参照)
10. 作業終了後クラッチ配管のエア抜きを行う。
(「スカイラインR33型整備要領書 (A006022) エア抜き」の項参照)

ブースターホース



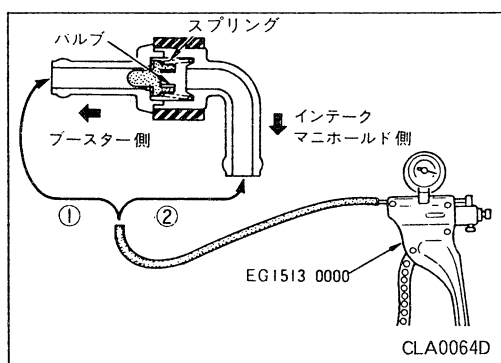
取り外し

- 各クランプを外しバキュームホースを取り外す。

点検

チェックバルブ簡易点検

- チェックバルブのブースター側より息を吹き込んだとき吹き込めて、逆方向から吹き込んだとき吹き込めなければ正常である。



チェックバルブ気密点検

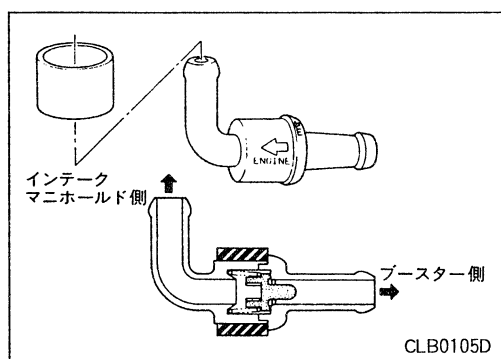
- バキュームハンディポンプ (特殊工具) を使用して点検する。

基準値

ブースター側に継いだ場合

1 : -27kPa { -200mmHg }
のときの真空度の低下は15秒間に 1.3kPa { 10mmHg } 以内。

インテークマニホールド側に継いだ場合 2 : 負圧が加わらない。

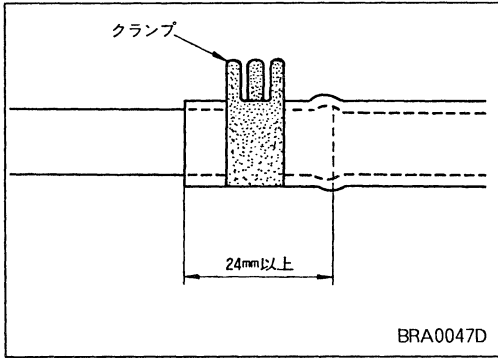


取り付け

- チェックバルブは矢印がエンジン側 (インテークマニホールド) に組み付ける。

ブースターホース (続き)

- ブースターホースは24mm以上差し込む。



@gabednconfused
@gabednconfused
@gabednconfused
@gabednconfused